

阪田 知樹 (ピアノ) SAKATA Tomoki, Piano

2021 年エリザベート王妃国際音楽コンクール 4 位。

2016 年フランス・リスト国際ピアノコンクール(ハンガリー・ブダペスト)第 1 位、6 つの特別賞。コンクール史上、アジア人男性ピアニスト初優勝の快挙。「天使が弾いてるかのようだ！」—Leslie Howard—と審査員満場一致、圧倒的優勝を飾る。

第 14 回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールにて弱冠 19 歳で最年少入賞。「清澄なタッチ、優美な語り口の完全無欠な演奏」—Cincinnati Enquirer—と注目を集める。

チェコの巨匠イヴァン・モラヴェッツ氏より高く評価されイヴァン・モラヴェッツ賞、ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ、聴衆賞等 5 つの特別賞、クリーヴランド国際ピアノコンクールにてモーツァルト演奏における特別賞、キッシンジャー国際ピアノオリンピックでは日本人初となる第 1 位及び聴衆賞。

アレクサンドル・ラザレフ、ヴラディーミル・ヴァーレック、レナード・スラットキン、アンドレア・バッティストーニ、ヤーノシュ・コヴァーチュ諸氏の下、シュターツカペレ・ハレ、チェコ国立交響楽団、ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団、フォートワース交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団他と共演。東京クワルテットメンバーとの共演など室内楽奏者としても活躍。

国内はもとより、世界各地 20 カ国で演奏を重ね、国際音楽祭への出演多数。クレムリン音楽祭では、オール・リスト・プログラムによるリサイタルを名ピアニスト、ニコライ・ペトロフ氏が「世界一のリスト」と絶賛。クライバーン・ショパン・フェスティバルでのオール・ショパン・プログラムによるリサイタルは、「ヴィルトゥオージティ、天性の叙情性、ピアノに対峙する真摯な姿が聴衆を感動の渦に巻き込んだ！」—Fort Worth Star-Telegram—と高評を得た。2018 年には、ドイツの名門ライブツィヒ・ゲヴァントハウスにてリサイタルデビューを果たす。

幼少期より作編曲にも傾注、近年は委嘱を受け、初演の機会に恵まれている。

2015 年 CD デビュー、2020 年 3 月、世界初録音を含む意欲的な編曲作品によるアルバムをリリース。内外でのテレビ・ラジオ等メディア出演も多い。

東京藝大附属高、東京藝大を経て、ハノーファー音楽演劇大学にて学士、修士首席修了、現在同大学院ソリスト課程に在籍。世界的ピアニストを輩出し続ける「コモ湖国際ピアノアカデミー」の最年少生徒として認められて以来、イタリアでも研鑽を積む。ウィーンの三羽鳥パウル・バドゥラ＝スコダ氏に 10 年に亘り師事。音楽理論・作曲を高橋千佳子、永富正之、松本日之春の各氏に師事。

2017 年横浜文化賞文化・芸術奨励賞受賞。